

## 2 中国

### 山西河津火力発電所建設事業(1)(2)



本事業により建設された河津火力発電所

#### [ 借款概要 ]

承諾額/実行額	24,600百万円 / 21,777百万円
借款契約調印	1995年1月 / 1995年11月
借款契約条件	金利2.3% / 2.6%、返済30年(据置10年)
貸付完了	2002年2月 / 2002年12月

#### [ 事業概要 ]

山西省の西南部に石炭火力発電所を建設し、同省の電力不足及び省内電力網における南北間の電力供給のアンバランス緩和に資せんとするもの。

#### [ 評価結果 ]

本事業により、350MW×2基の火力発電所が建設され、2001年2月(1号機)、2001年5月(2号機)にそれぞれ商業運転を開始した。それぞれの稼働率は90%程度と順調で、年間発電電力量も計画を上回る3,843GWh(2001年)に達しており、地域における電力不足の緩和に果たした役割は大きかった。また、2002年は9月まで無事故で安全操業がなされている。さらに、350MW×2基の大規模発電所である河津火力発電所が省南部に建設されたことにより、北部地域のみで大規模発電所が集中していた山西省内の電力網における南北間のアンバランスも緩和された。この他のインパクトとしては、工業の発展や一般家庭の電力需要を、安定的な電力供給の面から支えている役割等が挙げられる。

河津火力発電所では、他の火力発電所への職員派遣のほか、定期的な訓練も行っており、基本的な運営・維持管理を行っていく上で技術的には問題はなく、財務面でも安定している。